

子どもの貧困対策

Q 照井 明子 議員

子どもの貧困対策の取り組み実績とその周知方法について伺う。

A 市長

子どもの居場所づくりや学習支援を目的にチャレンジ広場を年64回開催する。また、花巻ロータリークラブ主催の子ども食堂「ぬくまの食堂」を毎月2回、年23回開催予定であり、6月中旬に花巻地域の小中学校にチラシを配布する予定である。

Q 照井 明子 議員

就学援助制度における修学旅行費の事前支給はできないか伺う。

A 教育 長

要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助費は、支給対象者の前年度の収入額を確

認し審査することから、決定時期は5月中旬ごろになる。このため、4月、5月に実施される修学旅行への事前支給は、困難な状況にある。

国保税

Q 櫻井 肇 議員

子育て支援拡充のため、18歳未満の国民健康保険税の均等割を減免する考えはないか伺う。

A 市長

18歳未満の加入者は令和元年5月24日現在で1172名となっている。均等割保険料軽減の支援制度は、全国市長会を通じて国に要望している。市としては、国保財政の健全な運営を実施しながら、財政状況に応じ可能な範囲において、子育て施策全体の中で引き続き取り組んでいく。



昭和45年に建築された市本庁舎

市庁舎

Q 佐藤 明 議員

国が7割支援する合併特例債を活用し新庁舎建設を行うことに対する市の所見を伺う。

A 市長

市庁舎は手狭であることも確かである。しかし、今後、市民生活に必要なさまざまな事業や公共施設の老朽化対策が検討されており、合併特例債の優先度としては低いことから市庁舎建設は現在考えていない。

公園と遊具

Q 大原 健 議員

市内の公園の設置目的と遊具の設置基準について伺う。

A 市長

市内には都市公園法に基づく「花巻市都市公園」と花巻市公園条例に基づく「花巻市公園」がある。子どもからお年寄りまで、自然とふれあい、健康運動、文化活動などの拠点として利用していただくために設置。市では遊具の設置基準はない。



花巻中央広場のオープンイベント（7月5日）。園児がダンスで花を添えました。

住宅建築

Q 佐藤 明 議員

花巻市の住宅業者が減少しているようだが、住宅建築業の今後の展望を伺う。

A 市長

将来を見据えた建築業の人材確保に向け、市内小学校に出向き、「世代をつなぐ防災・住まいの耐震授業」を行い、大工や建築士になりたいと思うきっかけづくりなど、今後もPR活動を継続していく。

市営墓園

Q 久保田 彰孝 議員

市営墓園の使用状況について伺う。

A 市長

令和元年5月20日現在、全体の使用状況は2555区画中、空き区画数が76区画となっ

ており、使用率は97%
となっている。松園墓
園6、高木墓園52、石沢
墓園13、東和墓園5区
画がそれぞれ空いてい
る。

公契約条例

Q 久保田 彰孝 議員

公契約条例の施行前
後で変化した点につい
て伺う。

A 市長

施行以前の状況を花
巻労働基準監督署から
伺った。一部の業者で
最低賃金を下回る支払
いが見られたが、市が
発注する業務の業者か
は特定されていない。
したがって、施行前後
を比較することはでき
ない。公契約に該当す
る旨を労働者に明示し
、意識啓発が図られたも
のと考えている。

農業の展望

Q 伊藤 源康 議員

本市の農業の課題と
将来像について伺う。

A 市長

担い手の高齢化・後
継者不足、園芸作物の
生産量減少、畜産の自
給飼料の確保が課題で
ある。

スマート農業は、高
齢化が進む中で、生産
の効率化に直結すると
考えている。農協、農業
法人を含め情報交換し
施策を考えていく。

農地改善助成

Q 佐藤 現 議員

農地耕作条件改善に
伴う暗渠排水工事の助
成について、10アール
当たりの助成額をさら
に増額できないか伺う。

A 市長

事業が始まった当初、
農林水産省では10ア
ール当たり15万円とし
たが、会計検査院の実地
検査により不適切とさ
れ、7万5千円に引き
下げられた経緯がある。
市が助成した場合、市
債対象とはなるが慎重
に対応していく。



暗渠排水工事中の圃場

高齢者福祉

Q 藤井 幸介 議員

高齢者福祉タクシー
券給付事業について、
年齢条件、給付金額に



高齢者福祉タクシー券

ついて拡充の考えはな
いか伺う。

A 市長

財政状況をにらみな
がら、助成の在り方を
検討する。

また、平成30年度に
開始した自家用車によ
る買い物や病院等への
付き添い等に利用する
ご近所サポーター事業
には、現在2団体が取
り組んでおり高齢者の
生活支援となることか
ら、活動の拡大に向け
地域団体の立ち上げを
支援していく。

公共交通

Q 伊藤 盛幸 議員

市街地循環バスが好
評だが、現在の運行
ルートをも2ルートに拡
充する考えはないか伺
う。

A 市長

市街地循環バスは、
国の運行事業許可によ
り、既存のバス路線と
の重複による競合を避
けることとなっている。
よって民間路線バスの
ルートにある地域につ
いては、市街地循環バ
スの乗り入れは困難で
ある。



運行ルートの拡充が望まれている
市街地循環バス